

虹の素 雨上がりには好きだといって Vol.4 (6月編)

「オルテンシアの種」

桜木想香

それは、未来に送るための君の生きた時間の結晶

CAST

♀	筑紫 陽花	……2年生。美術部。余命1か月。
♂	小日向 凜太郎	……2年生。陽花の彼氏らしい。
♂	宇津木 光太郎	……2年生。陽花の同級生。発明家。25年後にひかりの担任。
♂	霧島 水月	……2年生。陽花の同級生。
♀	柏葉 結乃	……2年生。陽花の同級生。
♀	城ヶ崎 杏	……2年生。陽花の同級生。卵子がつかれない。
♀	澄沢 つゆ	……2年生。陽花の同級生。
♀	渥美 蛍	……2年生。陽花の同級生。生徒会。
♂	神楽 理人	……3年生。美術部。美術準備室の壁に天使の絵を描いた。
♀	鳴神 まつり	……3年生。美術部。
♀	植田 香魚子	……2年生。美術部。
♀	小町 あやめ	……2年生。美術部。
♀	舞子 ひかり	……未来からタイムスリップしてきた美術部の3年生。
♂	墨田	……陽花の担任。
	陽花の両親	

神奈川県立横南高校。横浜市内の丘の上にある。

来年度より、県立浜北高校と合併し新設校になるため、最後の1年である。

「雨上がりには好きだといって」シリーズは、時代を2013年に設定しています。

この作品はさらに25年前の物語ですので、1988年を想定しています。
が、実際の史実・時代状況とは違う箇所もあります。

小雨がパラパラと降る6月の教室。水月がご祝儀袋に名前を書いている。
結乃、来る。

結乃 書けた？

水月 こんな。

結乃 ああ。

水月 どう？

結乃 まあ、水月の字だよ。サルの字。

水月 うーわ。

結乃 不安いっぱいでした。自信ない感じまんま出てる。

水月 もームリ。やっぱり結乃が書いてよ。

結乃 えー水月が自分で書くって言ったんでしょ。

水月 でもほらやっぱりオイラのへたっぴな字なんかより結乃がちゃんとか

結乃 つこよく書く方がいいじゃん。ね、ね。
まったく。貸して。

結乃が席につき、書き始める。背筋はピンと伸び、かっこいい。

水月 おお、かっこいい。流石結乃。

結乃 言っとくけど、あんただって書道教室続けてりゃこれくらい書けるよ
うになっただからね。

水月 だってつまらなかつたんだもん。じっと座って字書くだけなんて。

結乃 ホント飽きっぽいんだから。はい、いくら入れるの？

水月 3千円くらい？

結乃 少なっ。

水月 いいんだよ。本物じゃないんだし、気持ちだよ。

結乃 やっすい気持ち。じゃあ出して。

水月 あ、俺今小銭ないや。結乃 500円持ってる？

結乃 は？なんで？

水月 え、半分ずつでしょ？1500円ずつ。

結乃 はーなんでよ。水月が出すんでしょ。

水月 えーなんでさ。

結乃 だって私字書いてあげたじゃん。

水月 え？字書いただけじゃん！

結乃 はあ？字書いただけって言っちゃう？

水月 なんだよ。

結乃 この字書けるようになるのにどれだけかかったと思ってるの？時間も

水月 お金もかかてるんですけど！それを字書いただけとか何様ですか？

水月 あんたみたいなのがクリエイターを安くこき使うから業界全体が苦し

水月 んでんだよ。

水月 おう、おう、なんで急にそうなった？

結乃

お母さんの口癖！

結乃、祝儀袋をぐしゃつとしてしまう。

2人

アアーー！！

杏、つゆ、あやめ、香魚子入ってくる。それぞれ荷物を持って。後から蛭が、レッドカーペットを持ってくる。

あやめ

なになにどーしたの大声出して。

水月

どーすんだよ最後の1枚だったのに！

結乃

うっさい！あんたがクリエイターの価値を分かってないからでしょ！

香魚子

はいはいケンカしないの。

蛭

ご祝儀袋？

杏

なにやってんの？

水月

だって、結婚式には必要かなって。

杏

必要ないでしょ。

結乃

え、必要ないの！？

蛭

普通は必要だよ。

水月

必要じゃん。

香魚子

普通はね。

結乃

どういうこと？

あやめ

いーんだよ、お金かけてるわけじゃないんだから。

水月

どういうこと？

蛭

高校生だから無理して出さなくてもいいんだよ。

2人

へーそうなんだ。

杏

大体ご祝儀あげても意味ないでしょ。使わないんだから。

水月

使わないってのは決めつけだろ。

香魚子

じゃあなにに使うの？

蛭

はいはい、カーペット敷くから机どかして。

つゆ

机いる？

結乃

いらんないんじゃない？

香魚子

何個か残しておいて、ケーキとか乗せるでしょ。

杏

とりあえず2個残してあと外出しちゃうよ？

あやめ

ケーキってどこにあるの？

つゆ

家庭科室。

杏

つゆちゃん特製のスペシャルケーキ！めっちゃおいしいよ。

水月

食ったのかよ。

杏

ううん、見た目がめっちゃおいしい。

香魚子

これ長くない？

蛭
香魚子
そのままためとけばいいでしょ。
どっちに？
そっちじゃない（教室奥・入場側）？
えーこっちでしょ（黒板・神父側）
じゃああっちからスタートしなきゃ。

カーペットをひっくり返して敷き始める。

結乃 このカーペットどこにあったの？
倉庫の奥。
蛭 よく見つけたね。
水月 さすが生徒会。
あやめ なんてこんなあるんだろ
蛭 昔なんか使ったんじゃない？
水月 前にもこういうことしたってこと？
結乃 バカなの？脳みそサルなの？
水月 お前、それは失礼すぎだろ。
結乃 ごめん、サルの方が全然賢いか。
水月 そうだよ全国のおサルさんに謝りなさい。
つゆ やっぱりバカだね。

敷かれたカーペットを見て、

杏 いいね赤。
あやめ ヴァージンロードって感じ。
蛭 命を共に歩む愛の色。
結乃 いつまでも冷めることのない情熱の色。
香魚子 契約を結び受け継がれていく血の色。
杏 いいね赤。
水月 なんかさ、ウキウキするね。
水月 あれ？
結乃 さ。黒板描こうか。
水月 おーい。
あやめ 書いちゃう？これは神楽先輩に任せた方が
杏 いないじゃん。あやめ描いちゃいなよ。
あやめ えー。
蛭 神楽先輩は？
香魚子 光太郎も。

光太郎とひかり、入ってくる。

光太郎 呼んだ？

香魚子 来ないなって言ってたところ。

光太郎 ごめん、遅れた。

蛭 誰？

光太郎 俺のいとこ。もしかしたら転校してくるかもしれないくて。

ひかり こんにちは。

香魚子 へー光太郎のいとこ。

水月 かわいいじゃん。

結乃 バカサル。

蛭 私渥美蛭、よろしくね。

ひかり えっ。

蛭 どうかした？

ひかり あいやなんでも、舞子ひかりです。

あやめ ねえこの制服すごい可愛いね！

結乃 ねーいいなあ。どこの学校？

ひかり えっと……。

光太郎 自己紹介はあとあと。鉢植えとってきてよ。下駄箱のところ。

杏 オッケー。

光太郎 あとごめん、いつも今日式にいいい？

結乃 まあ、私はいいけど……。

光太郎 サンキュ。

結乃 神楽先輩は？

光太郎 美術室じゃない？

蛭 まだ描いてるの？

光太郎 流石にもう出来上がると思うけど。

香魚子 神楽先輩まだ録ってないんだよ。

あやめ じゃあついでに様子も見てくる。

光太郎 よろしく。

光太郎とひかりを残しみんな出ていく。

光太郎 どうした。

ひかり お母さん。

光太郎 蛭？

ひかり 多分。

光太郎 多分？

ひかり 会ったことないの。私を産んですぐ、いなくなったらしいから。

光太郎 まじか。

ひかり ねえ先生。あつ、こうたろう。式って、何するの？

光太郎 結婚式だよ。

ひかり
光太郎

結婚式？
6月の花嫁は幸せになれる。……ジュンブライドなんてよく言った
もんだよな。

ひかり
光太郎

え？

ヨーロッパじゃ6月は天気もいいけど、日本は梅雨の真っ最中だ。一生
に一度のお祝い事なんだから、こんな雨の日にやりたいなんて誰も思
わないだろ？だから結婚式場は6月は暇だったんだ。それをなんとか
しようとした人たちが、ジュンブライドってあるんですよって宣伝
したんだ。初詣とかバレンタインとかクリスマスと同じ。企業戦略さ。

ひかり
光太郎

あのさ、結婚式って、今から？ここで？
そうだよ。

ひかり

誰の？

陽花と凜太郎、入ってくる。

凜太郎

陽花きたよ。

光太郎

おう、みんなとすれ違った？

凜太郎

いや。

光太郎

今みんなで鉢植え取りに行った。陽花久しぶり。

陽花

久しぶり。

ひかり

あーっ！

光太郎

どうした？

ひかり

ううん、なんでもない。

凜太郎

誰？

光太郎

俺のいところ。

凜太郎

小日向凜太郎です。よろしく。

陽花

筑紫陽花です。

ひかり

あ、舞子ひかりです。

陽花
ひかり

ま、よろしくって言っても、私今日でもう最後なんだけどね。
え？

鉢植えを取りに行ってきた人たち、戻ってくる。

杏

はるかー！

陽花

みんな久しぶり。

結乃

元気だった？

水月

元気じゃないだろ。

陽花

元気だよ。病人扱いしないでよ。

凜太郎

病人だろ。

陽花

病人は元気じゃないって思い込みだよ。私は元気！

蛭

病院でなにしてた？

陽花 生きてた。
杏 そんなことわかってるよ〜も〜。生きて何してたの？
陽花 窓の外見てる。
香魚子 窓の外？
陽花 紫陽花が見えるんだけどね、今すごいキレイに咲いてて。この花が枯れる頃には、私の命も枯れてしまうのね……って考えてる。
みんな (よし今すぐ行って枯らしてこよう)
凛太郎 もう〇〇してきたよ。(燃やす、切る、塩を撒く、除草剤など)
みんな (グッジョブ！)
光太郎 で、神楽先輩は？

神楽、入ってる。

神楽 呼んだ？
光太郎 あ、描き終わりました？
神楽 ちよつと片付けてた。陽花に見せるのに、散らかり放題だったから。
陽花 理人先輩。
神楽 おう、元氣そうじゃん。
あやめ あのね、すっごい。
つゆ ね！ホントすごいから！
蛭 ひかりちゃんも一緒に見に行こう。すっごいよ。
神楽 誰？
ひかり あ、
光太郎 3回目だから省略するな。
神楽 なるほどいとこか、オツケー。
陽花 理人先輩、見に行つてきていいですか？
神楽 いいよ。
あやめ 神楽先輩、黒板お願いします。
神楽 おっけー。
光太郎 これ並べとくな。ひかり手伝って。
ひかり あ、うん。
香魚子 あーーそうだ(こっそり)行ってる間に神楽先輩の録っといてね。
光太郎 おっけー。

神楽、光太郎、ひかりを残してみんな出ていく。

光太郎、隠してあったカセットデッキを取り出して、

光太郎 神楽先輩、まだメッセージ録ってないんですよね？
神楽 あーごめん。一番最後がよくてさ。
光太郎 あーもー、ギリギリじゃないっすか。早く録ってください。
神楽 はいはい。これこのまま録音していいの？

光太郎 多分。
神楽 わかった。じゃー録音するから外出てて。
光太郎 えー。
神楽 誰にも聞かせたくないの。

光太郎とひかり、出ていく。神楽、一人になり、録音ボタンを押す。

神楽 えーあーあー、神楽理人です。あーあー、神楽理人は、筑紫陽花の
ことを、(愛しています)

神楽 大好きです。以上。

停止ボタンを押し、黒板に教会の内装の絵を描き始める。

神楽 光太郎ー！終わったぞー！

光太郎とひかり、入ってくる。

光太郎 え、本当にもう録ったんですか？

神楽 ああ。

光太郎 早くないですか？

神楽 そんなことないよちゃんとしやべったよ。

光太郎 そうですか。

神楽 それでひかり、本当は？

ひかり えっ。

光太郎 わかります？

神楽 わかるさ。

光太郎 5年後から来たんですって。

ひかり ちよつと先生！

光太郎 だから呼び方！

ひかり あごめん。

光太郎 この人は大丈夫。5年後の俺が送り込んだらしいです。

神楽 まじかよ！すげえじゃん！お前の夢は叶うんだ！やってることは無駄
じゃないんだ！なあ！未来ってどうなってるんだ？アトムとか生まれ
てるの？

ひかり アトムは生まれてませんけど、あの天使の絵はまだ残ってます。

神楽 まじで？消されないで残ってるんだな、うわ嬉しいね。

ひかり なんでそんな簡単に受け入れるの？本当に信じるの？

神楽 信じるさ。目の前のものをきちんと捉え、その奥に潜む真実に触れる。

ひかり お前も絵描くならわかるだろ？
えっなんで。

神楽 俺の描いた絵知ってるんだろ。美術準備室に入るのなんて美術部員く

らいしかないだろ。

ひかり 結構いろんな人が見にくるよ。私の時代じゃ、学校の名物。

神楽 まじで！？そんな有名になるのかー。うおー！テンション上がるわ！

ひかり 私もすごいキレイだと思った。こんな絵を描きたいって思ってた。憧れ
です。

光太郎 それで、何があるの？

ひかり えっ？何が？

光太郎 だって、未来の俺がわざわざこの日に送ったんだろ？だから今日何か
あるのかなって。

ひかり あー、えっと、それは、

神楽 光太郎ーお前それ聞くの野暮だろってか聞いたらダメだろ。

光太郎 あーそっか、そうだな。あ、でもあれな、もし未来が変わっちゃいそう

なことが起きたらすぐ言えよ。なんとか元に戻せるようにするから。

ひかり うん。でも、私も全然わからなくて。

光太郎 そっか。でもきつと、なんかあるんだろ。見つかるといいな。

先生とまつりが入ってくる。

墨田 そろそろ始まる？

神楽 ああ、墨田先生。とまつり。

まつり つてあれ？全然ないじゃん。みんなどーした？

光太郎 神楽先輩の絵を見に行ってます。

まつり ああ。ちゃんと片づけたー？

墨田 おお神楽、お前就職すんの？

神楽 はい。

光太郎 えっ。

まつり えっまってあんた就職ってウソでしょ？

墨田 ○○先生嘆いてたぞ。進学すればいいのにつて。

光太郎 そうですよ。美大行くべきですよ。なんすか就職って。

神楽 うち父親いないからさ。大学行ってる余裕ないんだ。母ちゃん毎日働き
づめでさ。俺が働いて、少しは楽させてやらないと。

墨田 そうかあ。それはなんとも言えんなあ。

まつり いやダメだよ。アンタは絵を描かなきゃだめだよ。準備室の壁にあんな
にすごい絵描いて、それでもう絵かかないって、ダメだよ。

神楽 俺も命の期限がわかってたらいいなって思うよ。

まつり なにそれ。

光太郎 どういうことですか？

光太郎 もしさ、あと1年ですとかわかってるなら、絵描いてたいって思う。

光太郎 ああ。

ひかり ……。

神楽

でもわかんねーし！少なくとも50年生きるとして、絵だけ描いてやてく自信ないし！それに母ちゃんもいつ死ぬかわかんねーしさ。早いとこ恩返ししてゆーか、孝行しとかなないと、する前に逝かれちゃったら絶対後悔するし。

墨田

そうだな。神楽がそう言ってたって、高島先生に言っておくよ。

神楽

お前は美大行くんだろ。頑張れよ。

まつり

バカ。

墨田

ところで彼女（ひかり）は誰？

光太郎

4回目なのでかくかくしかじか。

まつり

なるほどね。よろしく。

ひかり

よろしくお願ひします。

みんなが戻ってくる。

蛭

さー急いで式始めよー！

凛太郎

〔陽花 45分〕ここ出て病院戻らなきゃだつて！

光太郎

まじ？後〇〇分じゃん！

あやめ

わーすごい！さすが神楽先輩！黒板じゃないみたい！

陽花

理人先輩。ありがとうございました。

神楽

ああ。

陽花

すっごくキレイでした。私じゃないみたい。

神楽

お前だよ。俺にはお前が、ああ見える。

陽花

理人先輩、メガネ買った方がいいと思いますよ。

神楽

余計なお世話だ。

陽花

とっても嬉しいです。本当にあんな天使みたいになります。

まつり

陽花。

陽花

あー！まつり先輩！！お久しぶりですー！！！！！！

あやめ

陽花、着替えいくよ。

水月

先生も着替えてください。

墨田

俺が着るもんもあるの？

あやめ

神楽先輩も着替えててください。

神楽

はいはい。

陽花

あー待つて待つて！先にこれ！みんなに！

陽花、折り紙の包みをみんなに配る。

水月

なあにこれ？

陽花

紫陽花の種！その中に入ってるから。

水月

へー紫陽花の種。

陽花

私だと思って、みんな大切に育ててください。

みんな

はい！

杏 あれ、私のは？
陽花 杏には、これ。

陽花、茶封筒を渡す。

杏 なに。

陽花 私の卵子の権利書。

杏 え。

陽花 3個しかとっておけなかった。

杏 陽花、本当にしたの？

陽花 だって杏が欲しいって言ったんじゃない。

杏 冗談でしょ。

陽花 わかっているよ冗談だったってことくらい！だから驚かせようと思って。

杏 お金は？

陽花 なんと！病院が技術導入するのにモニターになったから格安！ってか
ほぼタダ同然でやってもらっちゃった！

杏 モニターなんて。そんな、失敗するかもしれないこと。

陽花 いいの。失敗したってどーせ死ぬ体なんだから。医療技術の進歩にも貢

献できたし、杏に卵子を託せたし、いいこと尽くしでしょ？ただ無駄に

排卵して捨てられるより全然いいじゃん！

杏 うん……うん。

陽花 あ、一応、病気は遺伝しないみたいだから。安心して。

杏 ああ。

陽花 杏……どうしたの？嬉しくなかった？

杏 え！何言ってるの！嬉しいに決まっているじゃん！びっくりしただけ。

陽花 へー！だいたいこーう！私ね、ずっと何ができるだろうって考えてて

だから少しでも役に立てたならよかった。

杏 ありがとう。

あやめ 陽花いくよ。早くしないと着れなくなっちゃうよ！

陽花 やだ！着る！

香魚子 あ、忘れてた！キーボード！光太郎運ぶの手伝って！

光太郎 えーっ。

蛍 あと陽花のお父さんとお母さんは？

墨田 多分応接室にいるから、着替えて呼んでくればいいのか？

水月 お問い合わせしませ。

凛太郎、杏、つゆを残してみんないなくなる。

凛太郎 杏。

杏 陽花あいつ……なんだよこれ！

凛太郎 そうだな。

本当にするの？

え。

杏 ……私わからないよ。

つゆ ……私わからないよ。

私ね、お姉ちゃんがね、子供墮ろしてて。今ね、血液とか羊水の検査で、生まれてくる子供に異常があるかないか調べられるんだけどさ。お姉ちゃん、胎児がダウン症って診断されて。それで、墮ろしたの。産むのか、墮ろすのか、すごい悩んでたの知ってるし、妊娠して喜んでたのも。でも、生まれてきた子がダウン症だったら、私も育てる自信はないし。

つゆ

でもさ、いのちってこんなに軽いものになっちゃったんだあつて思ったの。この野菜は形が悪くて売り物にならないから捨てましようみたいな。そういうのと全然変わらないじゃんって思ったの。本当なら、生まれてくるまで、どんな子かわからないはずで、生まれてきたら、どんな子だって同じ大切ないのちのはずで、ううん、生まれてくる前から、お母さんのおなかの中にいるときから、大切な命のはずで、生きて。今生きてる人を殺すのと、生まれる前に墮ろすのと、なにが違うんだろううって、思ったの。

つゆ

そもそもさ、いのちつてさ、億つて人の中から、お父さんとお母さんが出逢えて、愛し合えて、セックスして、億つて数の精子のうち、卵子にたどり着けるのはたったの 100 個くらいで、その時に卵子がいるかも月に一度きりで、いたとしても、受精できるのが 10~20%くらいで、受精できたとしても、子宮に着床できるのは 3 回に 1 回で、つて、本当にさ、奇跡なんじゃないかっていう確率で、人間の神秘、つていうか、本当はとつてもとつても尊いもののはずなのに、今はもう、精子と卵子と取り出して、人工的に受精させて、セックスしなくてもいのちができちゃつて、なんだろ。なんかもう、全然わからないんだけどさ。

つゆ。

杏がね、子供つくれないの、知ってるけど。でも杏は陽花の子どもを産むの？杏が産んだ子なのに陽花と血が繋がってるつてことだよね。お母さんはどっち？どうして、杏から、杏の子じやない子が生まれて来れるの？そんなことつてあり得る？そんなことつていいのかな？ねえ、杏はどう思う？

つゆ

私はわからないの。いいのかとか、悪いのかとか。考えるんだけど、でも考えれば考えるほど、いろんなことがぐるぐるしちゃうつて、わからないの。なんなのかな。いのちつてなんなのかな。

杏

それは……。……私にも、わからないよ。

つゆ

……そうだよね。

杏

わからない。わからないんだけど、でも、嬉しい……。いや、まだ全然、

子供産むとか、考えられないけどさ、でも、不可能だつてなつて、ショクだったし、それに對してどう受け止めたらいいのか、ずつと悩んでたし、だから、そりゃあね、確かに、私の遺伝子はどこにもないけどさ。私の大好きな人の子だし、産みたくても産めなかつた子だし、私の子じゃないけど、でも産むのは私だし、だから、私の子でもあるし、つて、なんていうか、なんていうか、私もわからないんだけど、本当にこんなこと、いいのかわからないんだけど、それでも、これは、私にとっては、希望みたいな、もの……だなつて、思う。

つゆ

凜太郎
2人

それは、未来へ送るための、陽花の生きた時間の結晶。え？

凜太郎

種つて不思議だよな。たとえ親がいなくても、新しい命が芽生える。時間を超えて受け継がれていく。タイムカプセルみたいだよな。うん。

2人
凜太郎

ただ、次の世代に子孫を残すために咲いて、種を残して枯れていく。だとしたら、残された種こそが、その花の生きた証なんだな。陽花の生きた証。

杏

凜太郎

人間は何で、種にならなかつたんだろう。親がいないと生きていけないからでしょ。でも親だけが育てるんじゃないけどね。

杏

つゆ

杏
凜太郎

人間は、愛情がないと育たないから。それだ。

つゆ

つてことは、愛情がなければ育てられない。裏を返せば、愛情さえあれば育てられる。つてことでいいんじゃないかな。

杏

凜太郎

杏

凜太郎

つゆ

他の植物の種とか、他の動物の種とか育ててるんだから、他の人間の種を育てちゃいけないって、決まりは、ない。つてことでいいんじゃないかな。私たちの中には。うん。

光太郎とひかりと香魚子、キーボードを持って入ってくる。

光太郎

あーもー超時間かかった。こんなに大きいのに全然見つかんねーの。

神楽と水月も着替えて戻ってくる。他もみんな戻ってくる。

神父姿の墨田と、陽花の両親が入ってくる。

一同　　こんにちは。
母親　　今日はありがとう。

両親を席に案内する。

※作者注

ここからの結婚式と披露宴に台本はありません。
自分たちが、どのように陽花を送り出したいか、そのために何ができるか、
作者の私が考えるのではなく、みなさんがそれぞれ役自身になって考えて、
本当に手作りの結婚式をしてもらいたいからです。

—————これより先、初演時に出演者たちが考えた結婚式と披露宴—————

演奏担当はキーボードの前に、ドアオープン担当は扉の前にスタンバイ。
他の人はもちろん着席していて、凜太郎と先生は立っている。
あとは陽花のスタンバイができればいつでも始められる状態。
(結婚式が始まってから、何回か、あと何分？あと何分！のやりとりが挟まる)
カセットデッキの録音ボタンを押し、隠す。

蛍　　先生。(OKサインを出す)

墨田　　それでは、只今より結婚式を執り行います。みなさんご起立ください。
新婦の入場です。

キーボードで入場曲を弾く。
ドアを開け、父親と陽花が入場。拍手で迎える。
陽花と凜太郎が並び、父親は母親の隣に。

墨田　　校歌斉唱。

キーボードで伴奏を弾き、歌う。大きな声で、楽しそう。

墨田　　みなさま、ご着席ください。

墨田　　誓いの言葉。

健やかなる時も　病める時も
よるこびの時も　悲しみの時も
富める時も　貧しい時も
これを愛し　これを敬いこれを慰め　これを助け
その命の有る限り　真心を尽くすと誓いますか

凜太郎

誓います。

墨田

誓いますか。

陽花

誓います。

墨田

それでは、誓いのキスを。

戸惑って向き合おうとしない2人。

墨田

それでは、誓いのキスを。

2人

えっと、いや、でも……

杏

ほら早く！

水月

キース！キース！

向き合ってキスしようとする2人。

一同

おおおおお！

陽花

もーう！やっぱ無理！見ないで！

一同

はーあ。

蛍

先生そしたらプランBで。

凜太郎・陽花

なに、プランBって。

墨田

それでは、世界各国さまざまな地域に伝わる、婚礼の儀を執り行います。まずは日本。三三九度。

盃とお神酒が用意される。墨田の説明に合わせてお神酒を交わす。ここからの説明は主に客席に向けおこなう。

墨田

一つの盃で男女がお酒を飲み交わす儀式です。まずは新婦が盃にお神酒を注ぎ、新郎が三度口にします。その次に今度は新婦が三度口にし、再び新郎が三度口にします。これを小中大と3つの盃で繰り返します。が本日は1つの盃のみで割愛いたします。ちなみに新郎新婦が交わしているお神酒は本日はお水で代用しております。

墨田

それでは続きまして、アフリカ系アメリカンに伝わるジャンピン・ザ・ブルームです。

箒が用意される。

墨田

2人で手を繋いで跨ぐと言う儀式です。ガーナが起源とされており、結婚を許されていなかった奴隷たちが行なっていた儀式です。悪霊や不正を払うと言う意味もあり現在では、より高く飛び越えたほうが新婚

生活の決定権を持つなんて言われもありません。

2人、全力で飛び越える。(陽花が勝つ)

墨田

それでは続きまして、韓国に伝わる儀式です。新婦が新郎の足の裏を鞭で思い切り叩きます。

凜太郎

何それ！

鞭が陽花に渡される。やる気満々だ。

男たちは凜太郎を取り押さえ、靴と靴下を脱がせる。

墨田

新郎の精神力や忍耐力を試す儀式と言われています。それではどうぞ。

凜太郎

いやいやちょっと待って待って待って！

陽花、躊躇なく思いつき足裏を叩く。本気で痛がる凜太郎。

墨田

それでは続きまして

凜太郎

まだあんの？！

墨田

ジャワ島に伝わる、ニンチャック・エンドッグと言う儀式です。

台座に乗せられた生卵が用意される。

墨田

新郎が生卵を踏みつけ、新婦がその足を拭いて洗うと言う儀式です。

凜太郎

なんだよそれ。

墨田

それでは、どうぞ、お踏みください。

凜太郎、生卵を恐る恐る踏みつける。陽花、その足を拭いてあげる。

墨田

続きまして

光太郎

スコットランドに伝わる儀式です！結婚前の最後の汚れと言うことで、新郎新婦を真っ黒に汚します！この試練を2人で乗り越えることで夫婦の絆が深まることでしょう！

光太郎、バケツに入った汚い液体をかけようとするが、全力で止められる。しぶしぶバケツを片付ける光太郎。

墨田

それでは、ベルギーの風習です。花嫁の親族が、刺繍入りのハンカチを落とします。レースの刺繍の入ったハンカチはベルギーの特産品です。幸せの涙を拭うためのハンカチは、母から娘へと代々受け継がれるものだそうです。

母が、ハンカチを取り出し、陽花の手に落とす。

陽花 ありがとう。お母さん。

墨田 それでは最後に、スリランカに伝わる儀式です。

金の糸を持ってきて、2人の小指を結ぶ。

墨田 スリランカでは、白もしくは金色の糸で、2人の小指を結び、その結ん

だ小指に聖水をかけ祝福します。

陽花 なんか運命の赤い糸みたいだね。

聖水をかける。

墨田 それでは以上で、結婚式を終わります。

引き続き披露宴に移ります！男子！椅子避けて！

蛭 ケーキ取ってくるね！

一斉に動き出す皆。つゆはケーキを取りに行く。

並んでいた椅子を片付け、机をだし、コップとジュースを出す。

墨田は写真を撮っている。(インスタントカメラ)

陽花、ジュースをみんなのカップに注いであげる。

注ぎ終わる頃に、ケーキを持って戻ってくる。

つゆ ケーキお待たせ！

陽花 えーすごい！これつゆが作ったの！ありがとうめっちゃ嬉しい！

杏 はいつゆコップ。みんな持った？それじゃ陽花、乾杯をどうぞ。

香魚子 まってその前に写真撮ろう！

ひかり あ、じゃあ私撮りますよ。

ひかり、墨田からカメラを受け取り、写真を撮る。

もう1枚撮ろうとして、シャッターを押すが、撮れない。

光太郎、慌ててフィルムを巻き、渡す。そして2枚目を撮影。

杏 それじゃ乾杯しよー！みんなコップ持ったー？

陽花 行くよ！それではみなさん！かんば——い！！！！

みんな かんば——い！！！！

乾杯してみんなでジュースを飲む。

蛭 それでは、ケーキ入刀です。

陽花と凜太郎、ケーキに入刀する。

蛍

はいそれでは！切り分ける時間が勿体無いので！みんな食え！

フォークを配り一斉にケーキに群がる。
凜太郎に食べさせてあげる陽花。

陽花

りんりん、はいあーん！

みんな

ヒューーーーー！

〇〇 それでは、今から〇〇やります！

誰かが余興をする（手品や一発芸、モノマネやダンスなど）

余興を見ながらみんな口々においしいと言いながら食べている。

陽花は食べるフリしながら、食べていない。（||食べれない）

墨田先生は写真撮っている。

余興が終わると、ブーケトス。机をまた脇に寄せ、スペースを確保。

群がる女子たち。この頃にはひかりも遠慮なく入るようになっていく。

陽花

いくよー！

陽花、ブーケを投げる。ひかりがキャッチする。盛り上がる一同。
残り時間を確認して、

蛍

それでは、そろそろ結婚式に戻ります！

みんな、ケーキの机を片付けて、椅子を並べ、座る。

こっそり隠してたカセットデッキの録音を切り、取り出す

杏

はい、陽花。

陽花

なあにこれ。

結乃

結婚式全部録音しました。

陽花

えーうそ！

つゆ

私たちはもうそばにいけないけどさ、

蛍

声だけでも、陽花のそばにいたらいいなと思って。

光太郎

それからこっちは、みんなからのメッセーじ。

陽花

ありがとう！もう死ぬまでずっと聴きまくるね！

それぞれ、立ち位置に戻り、

墨田

それでは、新郎新婦の退……

陽花

ちよつと待ったあー！っ！

陽花、みんなの方に向き直り、

陽花

最後に、私から。

みんな、「最後」と言う言葉にハッと息を飲む。

凜太郎、懐から手紙を取り出す。

陽花

えーっと、最初はね、手紙を書いてたんだけど、もうなんかめっちゃめちや長くなったり湿っぽくなっちゃったり、すごいぐちゃぐちゃになっちゃったから、やめて。

みんな

えー。なんでよー。など

陽花

代わりに、詩を書いてきました。詩を書いたって言っても、これもあの、谷川俊太郎さんの「生きる」って言う詩があつて、それを、私なりに代えて書いたので、読みます。

陽花、詩を読む。

前半は陽花役の子自身の創作で。以下後半。

生きているということ

いま 生きているということ

もつともつと生きたいと願うこと

死にたくないと祈ること

生きているということ

いま 生きているということ

が 叶わなかった人がいるということ

を 決して忘れないこと

残された限りある時間を

1秒でも無駄にしようものなら

そんな風を使うなら代わって欲しいと

願う人がいるということ

を 胸に刻んで生きていくということ

健やかなるときも 病めるときも

喜びのときも 悲しみのときも

富めるときも 貧しいときも

全てを愛し 誰かを敬い

これを慰め これを助け

その命ある限り

真心を尽くし生きていくことを誓いますか

全員 誓います！

陽花 それでは、誓いのキスを。

全員 えええええ。

陽花 するの！

全員が誓いのキスをする。(頬でいいと思う)

陽花 お父さん、お母さん。みんな。いつも本当にありがとう。私は今、世

界一幸せです。

一同、大きな拍手。

—————ここまで、初演時の出演者たち考案—————

墨田 それでは、新郎新婦の退場です！皆様拍手でお見送りください。

一同、よりいっそう大きな拍手でお見送りする。

新郎に誘導され新婦はゆっくりと退場していく。

墨田が、両親を廊下に誘導させようとする、両親から申し出がある。

陽花と凜太郎教室に戻ってくる。

墨田 あと5分なら、まだいいって。

みんな 本当に！？

杏 まじか。

蛭 どうしよう。

あやめ とりあえず着替えてこよう！陽花、まつり先輩行くよ！

あやめと陽花とまつりは着替えに行く。

杏 どうしようか。

結乃 あと5分。

神楽 正確には〇分〇秒。

水月 そんなシビアじゃなくても。

つゆ あと5分、何しようか。

蛭 結構タイトだったから、時間が余ること考えてなかったね。

香魚子 でもよかった。足りなくなるよりはいいじゃん。

杏 で、何する。

結乃 最後の4分。

水月 その言い方やだ。

光太郎 普通に、いつも通り、何かしゃべればいいんじゃない？
つゆ いつも通りって？
水月 最後なんだよ？
結乃 最後って言うのやだって言ったのあんたじゃん。
蛭 何か言いたいことある人とかは？

みんながいろいろ言うけれど、どれも決定打にならず、次第に沈黙に。

光太郎 ひかりなら何する？
ひかり え？
光太郎 大切な人と、一緒に居られる最後の5分。お前なら何する？
ひかり 私は……（自分の言葉で答えてください。答えられなくてもよし）

陽花たち、戻ってくる。

まつり 何する？
香魚子 今、〇分〇秒。
蛭 何したい。
まつり 決めてなかったの。
つゆ だって何するってなるとき、
水月 何していいかわからないよね。
杏 何でもいいよ。
結乃 何かしようよ。
香魚子 この時間無駄。
水月 じゃあ何するか決めてよ。
結乃 あと〇分〇秒。
杏 待ってもう陽花いなくなっちゃうの？
光太郎 やだー。
凛太郎 しんみりするのはやめようよ！
光太郎 何したって時間は変わらないもんね。
陽花は？

陽花 私は、爆笑したいかな。
まつり 爆笑？
陽花 思いつきり笑いたい。
結乃 なんか面白いことやれよ。
水月 そんないきなり言われても。
陽花 一人で声あげて笑うってできないからさ。だからみんなで。
杏 じゃあ、せーので、みんなで爆笑。
水月 あと〇分間ずっと？
あやめ ずっと？

蛭
　　本當にこんなことでいいの？
結乃
　　いいの。って言ってる時間が無駄。
陽花
　　いくよ、せーの！

全員で爆笑する。1分くらい。やがてだんだん苦しくなってきた。

水月
　　ねえ無理無理！きついって。
香魚子
　　1分経ってないじゃん。
杏
　　しんどっ。

みんな辞めるのだけど陽花だけ笑い続けている。陽花以外、沈黙。みんな思い知る。己の甘さや愚かさ、そしていかに怠惰であるかを。陽花だけが、今この瞬間を「必死」で生きていた。そんな陽花を見てまたみんなも無理やり爆笑する。誰かが陽花を抱きしめる。抱きしめ合う。それをまた誰かが抱きしめる。みんながみんなを抱きしめあって団子になる。笑わなくなる。

陽花
　　苦しい〜潰される〜死んじやう〜。
神楽
　　みんなもっとなんて殺せ！
陽花
　　やめて〜あ〜でもやめないで〜もうこのまま死にたい〜。

力を緩めてもいいし、強く抱きしめ合っただままでもいい。

ひかり
　　陽花さん。
陽花
　　なあに。
ひかり
　　さつき、病院の窓の外の紫陽花が枯れたら、って言ってたじゃん。
陽花
　　うん。
ひかり
　　花の終わりって知ってる？
陽花
　　花の終わり？
陽花
　　花の終わりの呼び方って違うの。桜は散る、梅はこぼれる。朝顔はしぼむ、牡丹は崩れる、椿は落ちる、菊は舞う。
陽花
　　素敵だね。
ひかり
　　うん。
陽花
　　紫陽花は？
ひかり
　　紫陽花の終わりは、しがみつく。
陽花
　　しがみつく。

みんながぐっつとしがみつく。

陽花
　　ふふ、いいね。しがみつく。ふふ、しがみつく！

そのまま、しばし静寂。永遠のようで、一瞬のような時間。頃合いを見計らって、親が促し、墨田が声をかける。

墨田

みんな。そろそろ。

陽花

時間か。

みんなが陽花から離れる。陽花は笑って、教室の外へ。

陽花

みんなありがとう！お葬式きてね！また来世！

笑って馬鹿騒ぎして元氣よく送り出すみんな。凜太郎だけ扉の外へ。扉が閉まる。さっきの爆笑のテンションから一気にしんと静まりかえる。

まつり

(泣きそうな人に) まだだよ。まだだからね。

しばらくして扉が開く。凜太郎が戻ってくる。

凜太郎

行ったよ。

堰を切ったように号泣し始める人、崩れ落ちる人、そのまま立ち尽くす人。祭りのあとの寂しさと虚無感だけが残骸のように残っている。誰も何も言えない時間があり、やがて、

(誰か)

……さ、片付けよっか。

動ける人たちは、ゆっくり、片付けを始める。まだ動けない人もいる。カーペットを巻き、机を並べる。

杏

あんたは強いね。

凜太郎

なんで？

杏

涙ひとつ見せないで。

凜太郎

それは強さとは関係ないよ。

杏

そっか。

凜太郎

俺には生きる義務があるから。

杏

義務？

凜太郎

ああ。

杏

義務か。

凜太郎

なあ杏。

杏

なに。

凜太郎

結婚してくれ。

杏

うん。

神楽 俺たちさ、あとどれくらい残されてるんだろうな。

ひかり !

まつり 知らないよ。

あやめ あと50年くらい？

杏 順調に生きれたらな。

光太郎 あと50年、何する？

蛭 50年も生きれるかな。

神楽 あと5分かもしれないし、5時間かも、5日かもしれない。

ひかり ……。

凜太郎 陽花はあと5週間、か。

結乃 5か月かもしれないし、5年かもしれない。

水月 50年かもしれないし、500年かもしれない。

結乃 それはさすがにない。

まつり 何する？

神楽 ん？

まつり 残りの時間。

神楽 爆笑する。

まつり 笑い死んでしまえ。

蛭 笑って死ねたらいいよね。

まつり そうだね。

水月 生きる！

結乃 は？

水月 残りの時間！生きる。

結乃 当たり前すぎる。

光太郎 どうやって生きるか。

あやめ 子供、産みたいね。

蛭 産みたいね。

水月 産みたいね。

蛭 その前に結婚式だね。あーウェディングドレスいいな！私も着たい！

あやめ 着たい！

水月 着たいね。

結乃 バカサル。

ひかり 本当に子供産みたい？

蛭 えっなんで？

ひかり いや……なんでもない。

蛭 まあ先のことすぎて想像もつかないけどね。でももし子供ができれば、本当に大切にしたいなって思う！

ひかり、涙が溢れる。

蛭
ひかり
えーひかりちゃん？どうしたの？！
なんでもない！目にゴミが入っただけ。
そっか？
結乃 さ、これしまってくる！

みんなそれぞれ物を持ってはけていく。香魚子、まつりをつかまえて

香魚子
なんかさ、
なあに。
陽花じゃなかったらどうだったんでしょね。
え？

香魚子
陽花だから。みんなこうして結婚式とか開いてさ。みんなに愛されて
る。陽花だから。

まつり
羨ましいの？

香魚子
正直、たぶんもつと黒いです。

まつり
黒い？

香魚子
妬ましい。って感情が、ないわけじゃない。

まつり
そっか。そうね。それは私もそうかな。

まつり
でも、陽花は死ぬ。

香魚子
そうですね。

まつり
それでよかつたとは思わないでしょ。

香魚子
思うわけないじゃないですか。

まつり
じゃあいいんじゃない。私たちは生きてる。

香魚子
(泣きだす)

まつり
あーあー。ちよつとトイレ行ってくる。

まつり、香魚子を連れて去る。黒板を消す神楽。

ひかり
光太郎。

光太郎
なに？

ひかり
私、そろそろ戻らなきゃみたい。

光太郎
そっか。見つけた？

ひかり
……うん。

光太郎
ならよかつた。

ひかり
そうだ、サインくれない？

神楽
サイン？そんなのまだねーよ。

ひかり
じゃあ名前書くのでいいから。

神楽
何か書けるもん持つてるの？

ひかり
ないから、これでいいや。

神楽
ガムテープかよ。

ひかり、ガムテープを剥がし、机にはる。神楽は名前を書く。

ひかり

あとさ、あの絵のタイトルも。

神楽

タイトル？なんで。

ひかり

いいから描いて。

神楽、タイトルも書く。

光太郎

なにそれ。

神楽

イタリア語。

光太郎

どういう意味？

神楽

内緒。

ガムテープを剥がし、体に張り付けとく。

ひかり

ありがとう。それじゃ。

光太郎

ああ、未来の俺によるしく。

神楽

……。

暗転。

明るくなると、みんないなくなっている。現代に戻ってきたひかり。

先生が入ってくる。

宇津木

帰ってきたか。

ひかり

先生……。私言えなかった。

宇津木

いいんだ。

ひかり

でも！教えてあげたら、もっとたくさん絵をかけたのに。

宇津木

ひかり。誰も命の期限なんてわからない。まさか自分が明日死ぬだなんて、誰も思っ

ひかり

でも先生だっと思ってたでしょ！

宇津木

ひかり。過去を変えたいんだったら、俺は自分で過去にいつてる。

ひかり

先生。進路希望調査票、返して。

宇津木、手に持っていた進路希望調査票とボールペンを渡す。

受け取り、斜線を引いて書き直すひかり。書き終えてて提出する。

ひかり

お願いします。

宇津木

受け取りました。

ひかり、窓の外の紫陽花を眺める。

ひかり
ねえ先生。あそこの紫陽花って、あの時の？
宇津木
ああ。

宇津木
紫陽花ってな、基本的に挿し木で繁殖させちゃうんだ。そっちの方が種

から育てるよりも楽だから。そうして品種改良が進んでくうちに、多くの紫陽花が、種を作らなくなった。つまり……ほとんどの紫陽花が、子供を作れない。未来に子孫を残せない。人間の手でクローンを作ること
でしか繁殖できないんだ。

でもあの紫陽花は、ちゃんと種から育ったんだね。

ああ。ちゃんと毎年種を作ってる。

この校舎取り壊されたらどうなるの？

さあ

種ができたなら、もらっていいかな。

いいんじゃないか。

ひかり
先生。美術室準備室、いこう。

ひかり、体のガムテープを剥がし、見せる。

宇津木
そういうことだったのか。

ひかりと宇津木、教室を出て行く。窓の外では、紫陽花が揺れている。
幕。